

海保職員「自分が流出」



発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622)5271

Copyright (c) 2010
Yamagata Shimbun

2010年

11月10日

〈水曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

尖閣映像問題

船内で上司に認める

神戸 5管所属、取り調べ



第5管区海上保安本部が入る合同庁舎 10日午後、神戸市中央区

尖閣諸島付近の中国漁船衝突の映像流出事件で、第5管区海上保安本部（神戸）の神戸海上保安部に所属する巡視艇乗組員の職員が、上司に「自分が流出させた」と話していることが10日、捜査関係者への取材で分かった。警視庁などは同日午後にも国家公務員法（守秘義務）違反などの疑いで取り調べる。容疑を認めれば強制捜査も検討する。

関係者によると、職員が乗る巡視艇は航行中で、午後に帰港する。海上保安庁は被疑者不詳の国家公務員法違反

の疑いなどで、東京地検と警視庁に刑事告発していた。

また、動画サイトの運営会社側から押収した記録の分析で、映像は神戸市内のインターネットカフェのパソコンから送信されていたことが警視庁への取材で判明した。防犯ビデオの分析などで人物の特定を急ぐ。海保によると、流出した映像は石垣海保や11管区海上保安本部（那覇）などで保管されていたが、5管本部は入手する立場になかった。

海保の調査によると、流出した映像は那覇地検に提出されたうちの1本で、計約44分。CD-R1枚に四つのファイルに分けて保存されていた。何者かが後から編集した形跡はほとんどなかった。